上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）に関する説明･同意書

◎当院での胃カメラ検査は、鼻から挿入する鼻腔内視鏡で行っています。鼻と口の中へスプレー式の麻酔液を噴霧し、痛みをなくしてから直径６mmのファイバースコープを挿入し、食道や胃、十二指腸までの粘膜に異常がないかを観察します。

◎内視鏡による感染症予防のため、事前にウイルス性肝炎の検査（採血）をさせていただきます。

◎鼻の穴の狭い方、鼻出血しやすい方、痛みが強い方は、口からの検査に変更することがあります。その際、嘔吐反射が強い場合には鎮静剤などを使用することがあり、検査後はしばらく院内で休んでいただき、車の運転などは控えてください。

◎検査中に必要に応じて組織の一部を採取（生検）することがあります。この場合、内部で出血が止まらないおそれがあります。腹痛が続いたり、黒色便が続くようなときは直ちに当院へご連絡ください。（食事などは検査後に指導いたします）

◎検査は十分注意して行いますが、病変の具合などにより大量出血や消化管穿孔（壁に穴が開く）をおこす可能性があります。また、薬剤に対してのアレルギーショックなどの可能性もあります。重大な病状の場合は直ちに近隣の大病院に緊急入院の手続きをとらせていただきます。（全国での偶発症＝0.012%）

上記の説明を理解し上部消化管内視鏡検査を受けることに同意します。

平成　　年　　月　　日

氏名（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

緊急時の連絡先　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　関係＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

濃飛ファミリークリニック　TEL　０５７４（５３）３１１１

時間外　０９０－５４５３－３１１４